

ひがし

広報

しらかわ

No. 242

'56 1 / 20

人口の動き

—12月末住民登録人口から

世帯数	942	世帯
人口	3,764	人
転入	3	人
転出	6	人
出生	8	人
死亡	5	人

先月と比較して増減なし
昨年と同月と比較して72人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 総務課

■ 印刷 / 関市中印刷

東白川小で 書き初め

1月12日、東白川小6年生たちが書き初めをしました。

平和の大地・新年の決意・理想実現の題のうち、それぞれ気に入ったものを書いていました。

写真は、オープンスペースで書き初めをする6年生の子どもたち。

—東白川小学校で

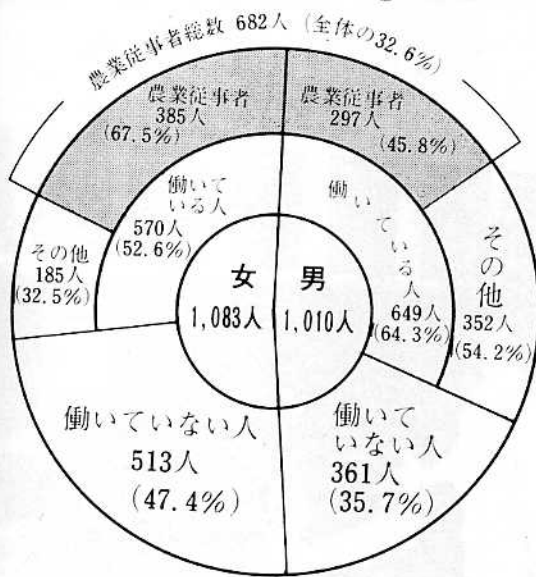


おもな内容

- 村づくりアンケートの結果…P 2～6
- 村消防団出初め式……………P 7
- すずむ建設事業……………P 8
- 連帯感あふれる村づくりを……P 9
- 新春将棋大会のもよう……P 10
- 村誌編さん室だより……P 11
- トピックス……………P 12
- けいじ板はP 4～7の下欄

将来 まとまる

世帯員



世帯員

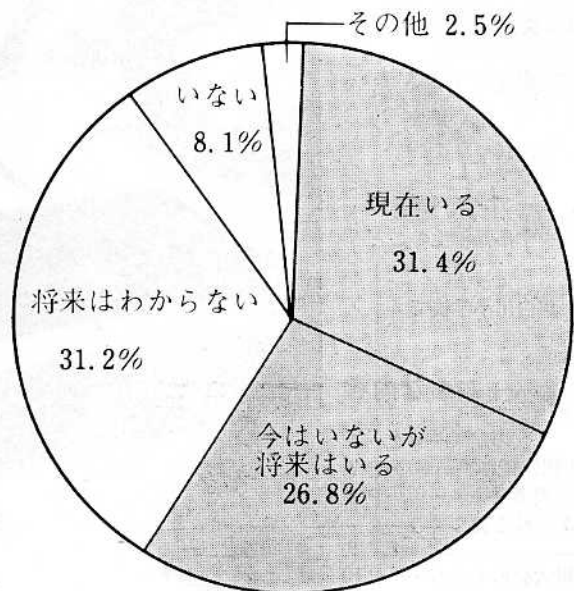
農業従事者は30%強

十九人(五八・二%)です。また、働いている人のうちおもに農業だけに従事している

る人は、男子二百九十七人、女子三百八十五人で合計六百八十二人(五五・九%)でした。世帯員全体からみた農業従事者は、三二%強という結果です。

村が昭和五十四年度から進めている村づくり推進事業のひとつとして、昨年十一月に行った「村づくりのためのアンケート調査」の結果がこのほどまとまりました。この調査は、農業経営の実態と今後の農業振興、とくに農用地の有効利用と農業近代化のための諸条件の整備を進め、新しい村づくりの資料とするものです。調査は、農地を保有している五百七戸の農家を対象に行い、回収数は四百六十九で、九二・五%の回収率でした。この結果は、村づくり総合計画画樹立のための基礎資料として、今後の農業指針として利用されることになっていきます。

農業後継者は… 回答数 455



半数以上の世帯が「いる」

農業後継者

「あなたのあとを継いで農業をやって行く人は決まっていますか」の問いでは、四百五十五世帯から回答がありました。

「現在いる」「今はいないが将来はいる」と後継者が決まっている世帯が五八%余りあります。そのほか「将来はわからない」「(三・一%)」「(三・二%)」「(八・一%)」「(二・四%)」となつて

います。

また「現在いる」世帯に、あと継ぎ予定者の性別とこの一年間の就業状況をきいてみました。性別では、男子が九五・八%強と圧倒的に多いようです。

就業状況では「ほかの産業を主にして農業に従事」が四五・五%でトップ、次いで「農業を主にしてほかの仕事に従事」(二五・五%)、「ほかの産業のみに従事」(二三・四%)となつていきます。

農家が望む村の

「村づくりアンケート」の結果

農業部門

昨年一年間に行った農業部門の種類と、そのうちで売上の多かったもの一三位までを選んでみました。

部門別で多かったのは「水稲」「茶」「野菜」「養蚕」などです。売上金では「茶」がトップで回答者の半数余りを占めました。次いで「水稲」「養蚕」の順でした。

売り上げ多い「お茶」

また「将来はどんな部門を行いたいと思いますか」の問いには、三部門以内で答えていただきました。

これには全体で九百三の回答があり「水稲」が四百二十二といちばん多く、以下「茶」(二百八十七)、「野菜」(百三)、「養蚕」(五十二)の順でした。

「水稲」は、先の問いで売上金は第二位、また国の水田再編対策で減反施策が強めら

あなたの家の職業は…

数字は回答数

家業類型	現在	将来
農業+給料とり	137	119
農業+日雇	100	41
農業+育林業	42	54
農業+建設業	39	46
農業専業	31	29
その他	93	91

現在・将来ともに 「農業+給料とり」

職業の組み合わせ

「あなたの家の職業は現在どんな組み合わせになっていますか。また、将来はどんな組み合わせにしたいと考えていますか」の問いでは、現在・将来ともに「農業+給料とり」が高い数字でした。

そのほか、現在の職業で多かったのは「農業+日雇」です。この答えが将来の希望の中で大きく減少しているのがめだちます。

将来の組み合わせで増えているのは「農業+育林業」「農業+建設業」などですが、とくに高い増加率ではありません。

れる状況下で、将来も行いたいという答えが半数近くを占めたことは、水稲の安定性と現在進められているほ場整備

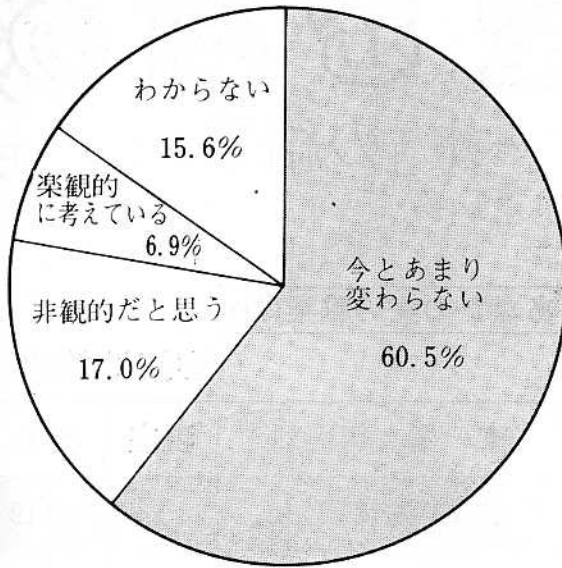
を主体とする新しい村づくりに対する期待が大きいといえそうです。

将来行いたい農業部門

部門	回答数
水稲	412
茶	287
野菜	103
養蚕	52
肉用牛	18
その他	31

農業の見通し 回答者423人

60%が変わらない



農業の見通し

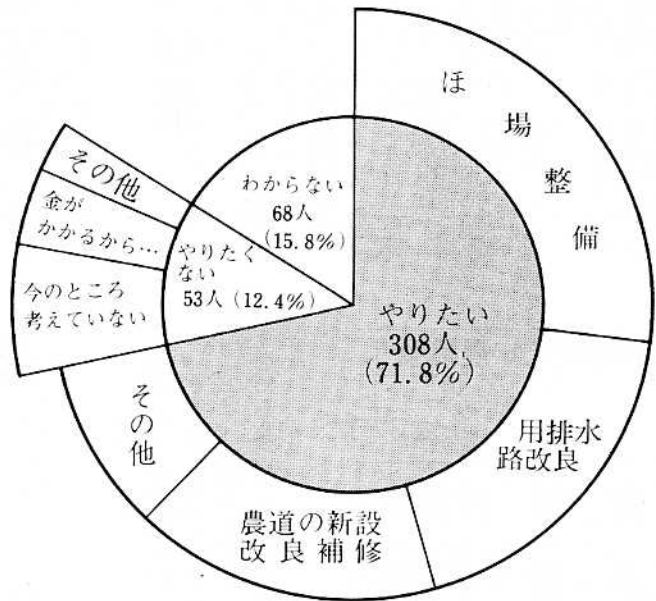
将来（今後五年くらい）の農業の見通しについてどう考えておられるのかおたずねしました。

「今とあまり変わらない」と答えた人は全体の六〇%余り「非観的だと思う」が一七・〇%で、先の「水稲」を行いたい人が多いにもかかわらず、非観的な見通しをもっている人も多いようです。

反面「楽観的」に考えている人も六・八%余りあり、明るい見通しに期待をもっている人もあります。

土地改良事業

ほ場整備など希望



土地改良事業

「今後五年くらいの間に土地改良事業をやりたいと思いますか」の問いで「やりたい」と答えた人は三百八人（七十二%）と高率を示しています。参考までにその内訳を紹介すると、トップは「ほ場整備

備」次いで「用排水路改良」「農道の新設、改良、補修」などが上位を占めています。また「やりたくない」と答えた五十三人（一二%）の理由は「今のところ考えていない」（五〇・〇%）、「金がかかるのでやれない」（二八・八%）などです。

かしのぼん



戸籍の窓（十二月）
敬称略

誕生おめでとう
ご報告します。

- (中通) 村雲 正幸 (正男)
- (神付) 安江 真弓 (長男)
- (日向) 高木 正樹 (長男)
- (日向) 高木 まゆみ (長男)
- (平) 安江 正範 (秀俊)
- (平) 安江 玲二 (智彦)
- (大沢) 今井 ゆたか (二男)
- (大沢) 今井 悦子 (俊彦)
- (大明神) 牧野 秀男 (由利香)
- (大明神) 安江 純江 (長女)
- (日向) 安江 房子 (由佳)
- (日向) 安江 政行 (美代子)
- (日向) 安江 敏子 (長女)



おくやみ
申しあげます

- 今井 彦一 69歳 (陰地)
- 大坪はな子 72歳 (上親田)
- 安江 儉一 77歳 (平)
- 安江みやゑ 69歳 (黒淵)
- 村雲 虎市 75歳 (神付)

ほしい育苗施設

近代化の機械・施設

農業近代化のための機械や施設について、機械化を望まれるか、現状のままでいいのかわかがってみました。

「機械化を望む」は二百二人（四九・〇％）「現状のままでよい」二百十人（五一・〇％）で、現状のままでよいとお考えの人がわずかに多いという結果です。

機械化を望む人に共同がよいか、個人のほうがよいのか質問してみますと「共同」が

百六十一人（八一・〇％）と圧倒的でした。

また「どんな施設や機械を導入したいですか」の問いでは、個人・共同・地域施設のそれぞれについてきいてみました。

個人では「田植機」がいちばん多く、次いで「バインダー」「ハーベスタ」「トラクター」などが少差で続いています。

共同でもいちばん多かったのは「田植機」、続いて「トラクター」「防除機」「コンバイン」の順です。

ほしい機械・施設は…

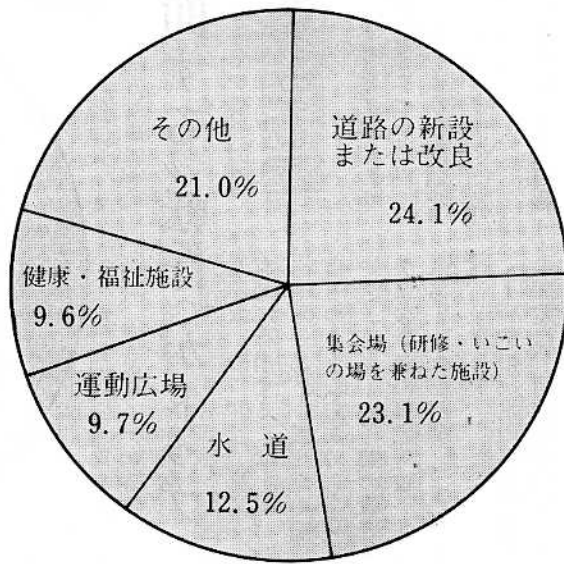
数字は回答数

個人・共同施設	個人	共同
田植機	43	104
バインダー・コンバイン	34	60
ハーベスタ	33	57
トラクター	32	101
耕うん機	27	—
防除機	26	64
その他の	91	83

地域施設	回答数
育苗施設	61
ライスセンター	52
集荷施設	39
その他の	37

道路網の整備を

整備したい地区内の施設



地区内の施設

それぞれの地区で整備してほしい施設をうかがってみました。八百九十五の回答のうち、とくに多かったのは「道路の新設または改良」の二百十六（二四・一％）と「集会場」五百七（三三・一％）です。そのほか「水道」（一二・五％）「運動広場」（九・七％）「健康・福祉施設」（九・六％）などがあげられています。

「地域施設では「育苗施設」「ライスセンター」「集荷施設」が上位を占めています。

■ 善意の寄付

次のような寄付をいただきました。それぞれの意志にそって活用させていただきます。△敬称略▽（社会福祉費へ）

現金五万円―陰地 安江ちよう、現金一万円―上親田大坪良一（神土保育園へ）

現金七万円―神土区

（東白川小学校へ）

現金二百万円―八体育館どん帳▽！大明神 安江隆雄

そうきん七十枚、竹ぼうき

四十二本―老人クラブ高砂会

書額二面―神土 野村正

葉ぼたん五株―下野 寺坂

はまゑ

■ 村職員募集

のお知らせ

村では保育園の保母の欠員補充のため次により職員募集を行います。

○応募人員 一人（保母）

○応募資格

①保母の資格のある人。

②昭和三十一年四月一日以降に生まれた人。

③村内に住所のある人。

○応募手続

所定の採用試験受験申込

お茶・ナスが有望

特産物

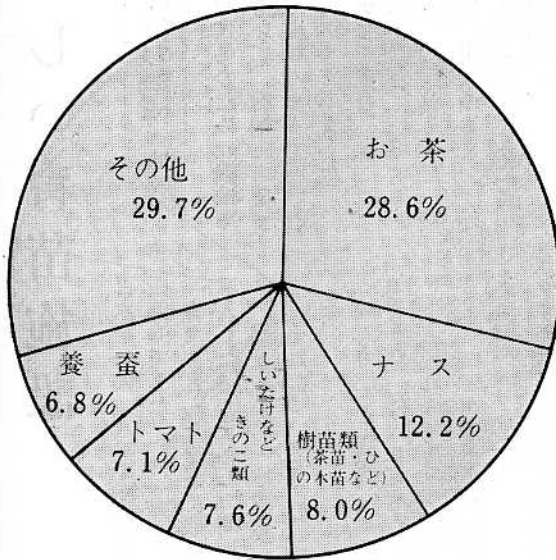
「地域の特産物として将来どの作物が有望だと思えますか」の問いでは「お茶」という答えが多く、全回答（九百五十六）の二八・六％を占めました。

「お茶」はいうまでもなく現在でも、高い品質を誇っており、特産物としてその名を広めています。今後さらに

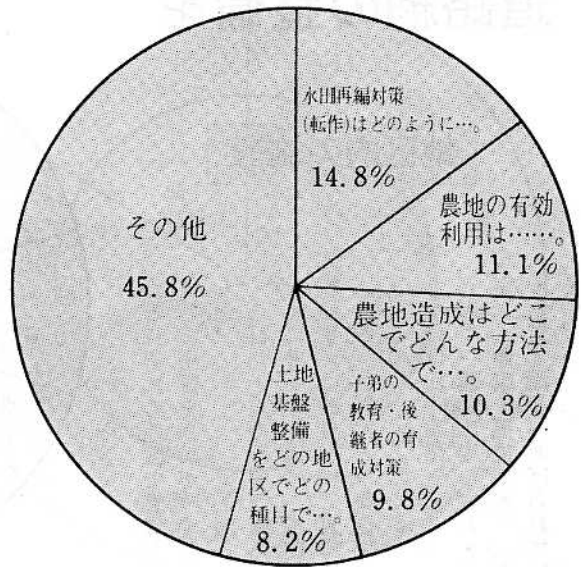
経営の合理化を図り、農業経営の上での重要な作物として育てたいという願いと期待がこの結果にあらわれたようです。

続いては「ナス」で二・二％、そのほか「樹苗類（茶苗・ひのき苗など）」八・〇％、「しいたけなどきのこ類」七・六％、「トマト」七・一％、「薬草」五・二％などがありました。

有望な特産物は……



地区内で話し合う問題は……



当面する「転作」がトツプ

地区集会でのテーマ

最後に、各集落で農業の生産や地域の発展について話し合う場合、どのような問題ととりあげたらよいか、うかがってみました。

最も多い答えは「水田再編対策（転作）」はどのように進めたらよいか」の百三十六件（一四・八％）でした。

以下「農地を裏作も含めて

有効に利用するには――。

一・一％、「農用地の造成はどのような方法で――。」一〇・三％、「子弟の教育・農業後継者の育成対策」九・八％――などが続いています。

トツプの「水田再編対策」の問題は、昭和五十六年度の減反実施がさらに強められようとしているだけに、当面する課題として注目を集めたものと思われます。

けいせいばん

書（役場総務課に用意）に次の書類を添えて同課へ申し込んでください。

- ①履歴書 一通
 - ②写真（上半身、サイズは四寸×三寸 一枚）
 - ③健康診断書 一通
- 受付期間
昭和五十六年二月二日から二月十四日まで
- 試験期日・場所
期日 二月二十七日
場所 東白川村役場
- 採用予定日
昭和五十六年四月一日

そのほか詳しいことは総務課（有線二一三一番）へおたずねください。

■県教育功労者の表彰

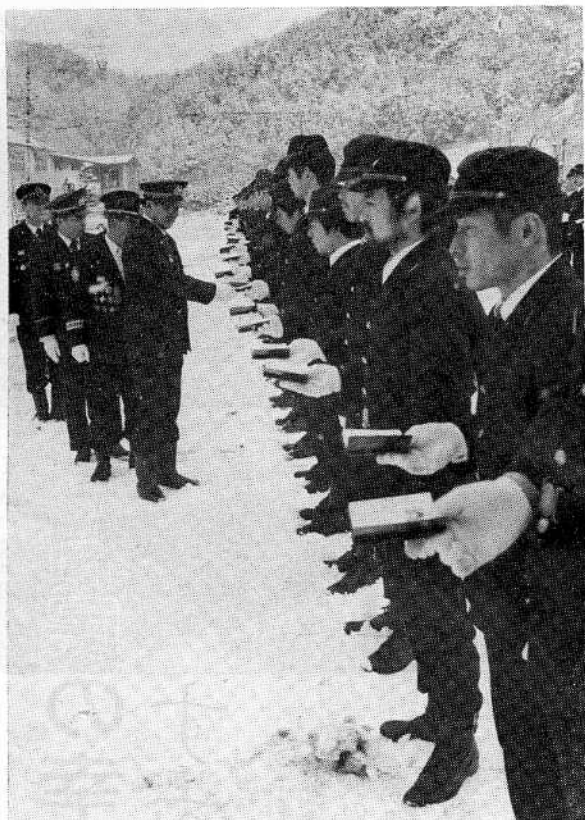
昨年の十一月二十九日、県庁で行われた第三十二回岐阜県教育功労者の表彰式で、長年本村の小・中学校の保健管理と学校教育のために尽くされた次の先生が表彰を受けられました。

※多年学校での保健管理の振興に尽くしたとして
神土 熊崎道一先生（東白川小・中歯科校医）

※教職員として三十年以上引きつづき勤務
東白川小安江光子先生

雪の降る中 誓いを新たに

消防団出初め式



雪の中、手帳点
検を受ける団員

一東白川中学校校庭で

恒例の東白川村消防団出初め式が一月七日、東白川中学校校庭で行われ、桂川団長以下百八十一人の団員と自動車ポンプ二台、ポンプ付積載車八台、小型動力ポンプ六台が整ぞろい。雪の降りしきる中でこの一年の活躍への誓いを新たにしました。

式上、消防業務に功績のあった次のみなさんが表彰されました。(敬称略)

【県知事表彰】
▽副団長 安江貞行
【県事務所長表彰】▽分団長 村雲巖美、安江輝行

【県消防協会長表彰】
▽副団長 安江 誓

【郡消防協会長功績章】▽分団長 今井準、村雲義己、安江啓次▽副分団長 山口直視 安江政義

【同勤労章(十五年)】▽分団長 安江輝行、今井準▽副分団長 安江政義
【同(十年)】▽部長 今井照夫

【特別表彰】(第一回県ラッパ競練会中濃地区代表)▽分団長 村雲義己▽副分団長 安江政義▽部長 安江吉信
▽団員 村雲輝孝

【村長表彰】
▽副分団長 安倍徹、新田久、安江忠昭、島倉功▽部長 安江徳之、大坪兼行 安江隆、安江保隆司、高木英彰 青木一博、安江

政行

【同感謝状】▽防火水槽用地提供 上親田 古田忠、久須見 古田きぬ▽積載車庫用地提供 日向 安江友一

【団長表彰(功績章)】▽部長 安江正明▽班長 島倉計昭、安江時信▽団員 安江賢二、安江政敏、樋口重福、村雲昭二、安江司、古田公平、安江勲、安江裕助、安江利英 安江健二、安江正徳、古田茂樹、今井信好、安江弘企、安江明雄、田口和志、楯光一、今井清高、渡辺昭彦、村雲義英、安江誠、高木正範

【同(勤労章)】▽部長 安江正明▽団員 古田勝彦、安江竹司、新田久男、藤井昭司 山口貞美、安江博志、大坪政信、安江和広、今井建夫、野村孝、土井信行、安江春幸、桂川勇吉、松岡洋一、安江敬吾、安江正孝、田口秀久、今井隆秀、安江洋次、渡辺昭彦 村雲義英、安江誠、高木正範

【同感謝状】神土消防後援隊
【五十五年退職消防団員消防庁長官報償者(十五年以上)】
▽元団長 木村成人▽元副団長 田口勝司▽元分団長 嶋倉捷司▽元副分団長 安江恭介▽元部長 今井福次▽元班長 安江恒男

■国の進学資金

貸し付けのご案内

国民金融公庫では、一月五日から進学資金貸し付けの申し込み受け付けを行っています。

この貸し付けは、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校などに進学される方の父母などに、必要な資金を融資する制度です。

▽融資額△
一世帯当たり五十万円以内。

▽融資期間△
進学する学校の在学期間内、ただし四年以内。

▽貸付利率△
年八・八%

▽返済方法△
毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済の併用もできます。)

▽取扱期間△
四月三十日まで
ご希望の方は左記へお申し込みください。

〒507
多治見市青木町六番の二

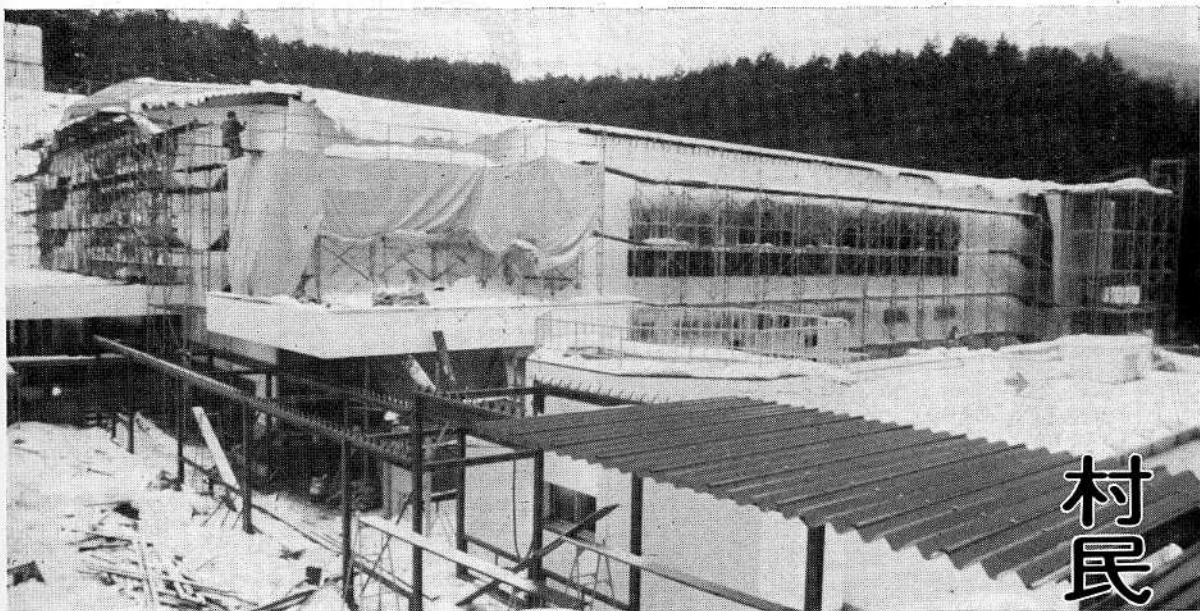
国民金融公庫

多治見支店

電話(0572)

2216341

2月末の完成をめざし進められている東白川小体育館建設工事



村民の幸せ願って…

すすむ建設事業

村民の幸せを願って、村ではあらゆる建設事業を進めています。快適な暮らしと産業発展のための農林道や村道の開設・改良工事、教育施設充実の一環としての体育館建設など、公共施設の整備が私たちの生活を、より豊かなものにしていくことができます。

体育館工事は

二月末完成の予定

昨年八月にスタートした東白川小学校体育館の建設工事は、二月末の完成をめざして着々と進められています。

この体育館は、鉄骨平屋建て（一部二階建て）千四百九十八平方メートル、畳敷きであらわれますと九百畳余りという大きなものです。床面積も九百五十二平方メートルと大きく、東白川中学校体育館のそれをはるかにしのいでいます。

この体育館が完成しますと学校教育上の使用はもちろんのこと、夜間などは社会教育活動の拠点として幅広い利用

ができます。また、広い床面積をフルに活用しての公式の試合も可能です。

こうした多くの利点をもつ体育館の完成まであとわずかとなりましたが、完成後の管理は並みだたいのことではないと予想されます。

使用する人みんなが、いつでも美しいままで使用できるように、互いに気を配りたいものです。

森林の可能性を

大シデ林道の開設

林業の重要性が叫ばれる昨今、森林のもつ木材生産などの機能発揮と林業総生産の増

大を——。と第二次林業構造改善事業が昨年からはじまりました。

この事業では、神土中通地内の森林組合木材市場（林産物共販所）がすでに完成しています。また、神土下親田地内の大シデ林道は五百六十二メートル完成し、今年度は残りのうち千三百メートルを行うというものです。

大シデ林道の計画延長は二千五百メートルですから、残りの五百七十メートルは来年度実施の予定です。

この林道が完成しますと、素材生産の拡大と拡大造林の推進など、森林のもつ限りない可能性を発揮してくれることとでしょう。

それにしても、森林面積一畝当たり占める林道密度は五割余りと少なく、今後林道網整備への期待は高まりそうです。

（大シデ林道開設工事は、大雪のため現在中断中です）

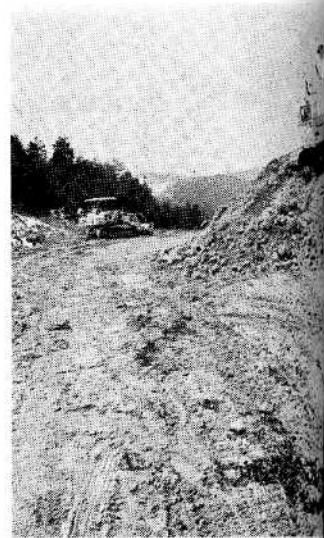
良改道 でも各所で

村道工事も各所で進められて
います。

上親田地内で行われている
改良工事は、幅員三三(車道
部分)延長が二百十七・一
で完成は三月二十日の予定で
す。また、西洞地内の道路改

良工事も進められており、完
成予定は二月末日、幅員四
、延長は百四十です。

そのほか、村道ではありま
せんが、県道白川加子母線道
路改良工事も、大口地内で始
められています。



上親田大坪良一さん
宅付近の村道改良
工事

明けましておめでとうござ
います。

昭和五十六年の新春を迎え
謹んで新年のごあいさつを申
しあげます。

経済の高度成長の後始末か
ら脱して、本格的な安定成長
へ向かって厳しい中で迎えた
八〇年も冷夏による農産物の
不作、商工業界の慢性的な不
況、外には緊迫した国際情勢
と資源エネルギー問題からき
た経済不安、また、八〇年代
期待の「地方の時代」はその
初年で、いささか不透明かつ
心もとない多難な年でありま
した。

本村もこの中であって、時
流の胎動に遅れることなく順
調な推移をみる事ができま
したことは、自らの村を自ら
の手で——の自治意識に燃
える村内のみなさん方のご熱
意ある温かいご支援ご協力の
賜であり、心から深く感謝申

しあげます。

新しい年を迎え、相変わら
ず厳しさが予想されますが、
住民の生活意識や価値感の多
様な中で、緑濃い土の香りの
するふるさとへの回帰志向が
強まってまいりました。

このような時流に対応し、
地域の特性を生かした手作り



連帯感あふれる村づくりを

東白川村長 安江多策

のふるさと、すなわち恵まれ
た自然の中に本村の伝統と風
土に培った、心のふれあいを
大切にすべく、心よく連帯感
あふれる村づくりを、村民運
動として強く展開して行くこ
との決意を新たにいたしました。

昨年ご協力いただきました

東白川小学校の統合事業も完
成をみる事ができ、新しい
時代の教育に対処してその実
質を高めつつあります。

また、これらと相まって、
住みよい豊かな東白川をめざ
して、村民みんなの手で、力
で手づくりのふるさとを、人
と人の和、地域全体の意識の

スーパースターの時代では
なく、全員野球の時代です。み
んながこの指標のもとで、力
を合わせて作りあげたものこ
そ尊いものはないと思います

本年度から着手します村づ
くり総合計画でも、まず地域
産業の根幹である農業を主体
とした基盤整備事業を実施し

脚した産業振興が重要な課題
となってきました。

しかし、本村では地場産業
など内発的開発と、工場誘致
など外発的開発の両面からの
総合的な手づくりによる村づ
くりの推進が必要であり、み
んなの話し合いによる創意と
工夫を生かした住民総意の力
と汗で作成して行かねばな
らないと思います。

もとよりこの事業は、まず
意識の変革であり、時間と忍
耐を必要としますが、村民各
位の協力のもと一歩一歩前進
を重ねて行く覚悟です。

上でのこの村の良さを見直し、
村に住む誇りと自信を高める
ために村民一人ひとりの心で
あり指標である「村民の誓い」
をみなさんのご協力で制定い
たしました。

「大賢は大愚にしかず」の
諺のように、智は力ではあり
ません。今や汗が力です。

ますが、農地の集団化、担い
手の育成、地域複合経営の型
成など地域ぐるみの農業再編
の助長を図るとともに、本村
の各産業の振興を強力で押し
進めて行きたいと思えます。

現在の日本経済の中で、公
共事業や企業誘致政策が限界
を示し、地域資源の活用によ

ピロ口君

伊公彦



伝説と民話



—村誌編さん室だより

銭岩と子安さま

(第二回)

あるとき、蛇が岩から出て遊ぶのをみた者があり、衆人大いに気がふさいだが、果せるかなその年は大凶作にみまわれ、人々はこの土地を捨てて離散し、その後長い間荒廃し無人の地と化してしまっ

た。それから数十年がたち、正徳五年(二七五)苗木藩から新地開墾令が出され、越原村庄屋の奨めによって当時無人の地であった大明神地区へ、仲右衛門ら十四人が移住して開墾がはじまった。

たさい銭があるのをみて不審に思い、その付近を探してみると、松の大木に鯛口(へわ)にぐちー神社やお寺などの入口につるして鳴らす鈴)がくいでんているのを発見した。

そこで、この岩が伝説に聞こえた銭岩であることを知りみんなが集まって安産の神としてまつることになった。

たまたま仲右衛門の妻が難産で苦しみだし、仲右衛門はじめ身内の者が神前に拝し、ひたすら安産を祈願したところ、間もなく苦しみもおさまり無事出産することができたという。

それからというものは、里人の信仰はますます高まり、その神徳は近郷に広く伝えら

れていった。

ちょうどそのころ苗木藩主遠山友将の家臣が御立山であった新巢山を巡視した際、子安大明神の霊験あらたかなことを知り藩主に申しあげた。

藩主には世継ぎがなかったので、老臣を遣わして男児の出生を祈願させた。これ聞いた近郷の人びとも集まって共々祈願した。

その効あつてか、やがて嗣子を得ることができた。藩公はたいへん喜び、御神徳に感謝して代官原五郎右衛門を派遣し、庄屋源右衛門に命じて御立山の良材を使い、その麓(現在地)にりっぽな社殿を造営した。

今月の料理



タラちりなべの献立

材料 四人分

- タラ(甘塩又は生) ……(四切れ) ……二百g
- 春菊 ……(1/2わ) ……百五十g
- 豆腐 ……一丁
- 人参 ……(5g)
- 白菜 ……五十g
- (三)四枚 ……四百g
- ねぎ ……(一本) ……百g
- こんぶ ……一〇種
- 水 ……二(三)リ
- レモン ……一個

作り方

- ①タラは三〜四つにぶつ切りにする。
- ②豆腐は大きなやっこに切る。

③春菊は葉先をつまむ。

④白菜は葉を3cm角切り、軸はそぎ切りにする。

⑤ねぎは斜め切りにする。

⑥こんぶはぬれぶきんでよごれをふきとる。

⑦土なべにこんぶを入れ、水を加えて火にかけ、沸騰直前にこんぶをとり出してタラと豆腐、野菜類を入れ、煮ながらしょうゆにレモンを絞り、煮汁とともにつけながらいただく。



イノシシ“ご用” 素手で生け捕り

1月5日、神付地内でイノシシのこどもが捕まりました。

捕まえたのは加舎尾の村雲昭二さん。友人の村雲正幸さんといっしょにうさぎ狩りにでかけられ、うさぎは射てなかったものの、ビグル犬が追いつめたイノシシを素手で生け捕りにされたそうです。

約8キロの小さなイノシシ君、ことしの深い雪で逃げられなかったようです。

—写真—は、捕まえたイノシシとともに記念撮影の村雲昭二さん（左）と、村雲正幸さん。—神付 村雲康平さん宅で

ト
ピ
ツ
ク
ス

交通少年団が 誓い新たに結団式

12月26日、東白川小学校で交通少年団の結団式が行われました。

交通少年団はこれまで旧小学校単位にありましたが、小学校の統合により新たな結団式を行ったもの。

当日は、交通安全協会東白川支部長から団旗、分団旗が団長、分団長に手渡され、団長の村雲憲君（大口）が5つの誓いのことばを力強く読みあげ結団しました。

—写真—は、誓いのことばを読みあげる交通少年団長の村雲憲君。



あなたの作品をお寄せください
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに神戸田口良三宛に出してください

- 今昇る喜びの陽は木の間透き初詣の人の背を明く染む
平 伊藤 重雄
- 初日の出そこに仰げり吾が命神に仕へん誓い新たに
平 安江 龍玉
- 指揮棒を臆に追ひながら大太鼓勇み打ち居り幼き孫は
西 安江 澄
- 大雪の予報に急ぎビニールのハウスの支柱立つる夕闇
神 早瀬 勇造
- 雪の日のそのつれづれに磨き居る母の形見の赤き手鏡
中 田口かづ子
- 傘寿なる君が記念に編みませし歌集繙く寝るを忘れて
西 村雲 傳三
- 老人会やがて酒出で唄となり千鳥足にて銚子ころがる
中 小池いちの
- 雪どけの稲田にさわぐ群雀雲間をもるる冬の陽佗し
平 安江 守平
- 力強く未来を背負ふ子ら思ひ手に汗にぎり應援をおくる
平 安江すみよ
- 御神輿をかつぐ若きらもてなすと時雨るる庭に大ぎ焚火す
神 安江 幸
- 幾色の餅つきて父母は吾が歸り待ちて居しかな遠き日のこと
神 田口 圭二
- 憂きことの幾歳月を耐え来しも身を健かに生きし幸なり
神 加藤 公一
- 落葉松の間に新雪をかづきたる供養塔立てり上州の空
大 安江 英樹
- 数の子の値段に見入る吾の身に師走の風の寒く吹き過ぐ
大 安江 香
- 子の願ひ親の願ひをそれぞれに除夜の鐘つく願番を待つ
宮 古田 光男
- 新しき年は明けたり「村人の誓い」に挙りみみてゆかん
神 山川 列
- 雪中に炎を上げて藁吹をつくるひととき八十の春
田 良三